



市史へんさん



日が少しずつ長くなりました。だんだんと春の気配も感ずるようになってきました。でも、今年は低温続きで、寒さはまだまだ厳しい毎日です。インフルエンザやノロウイルス、PM2.5の数値も気になるこの頃です。くれぐれも体調管理には、お気を付けください。

さて、3月9日には、3回目の古文書講座が開かれます。今年度最後の締めの講座です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。初めての方も大歓迎です。ぜひご聴講ください。

古文書講座

講師：木越隆三 石川県金沢城調査研究所長

「十村文書入門」

2月11日

参加者64名

「十村の御用留を読み解く」

2月23日

参加者61名

「十村文書入門」(2月11日)

近世文書と言え、当地方では絶対はずせない**十村文書**。1回目はこの**十村と改作法**について基本的な知識を十分に学びました。

十村には4階層もあって、苗字や帯刀を許され、百姓身分でありながら士分扱い(御歩並<村弁>という)であったとのこと。

また、加賀100万石を支えた**改作法**。今回は、数少ない大聖寺藩の史料から、大聖寺藩で改作法はいつ行われたかを探りました。圧巻は、年代の記されていない文書からその年期をどう推測するか、その手順、手がかりを教えてくださいました。文書に書かれた人物から年代を絞り込んでいくという、文書の裏を読むこれまでにないスタイルの古文書講座でした。

「十村の御用留を読み解く」(2月23日)

2回目はフルに古文書を使い、読み解きました。使ったのは太田文兵衛文書で、寛文2年(1662)から、文兵衛が大聖寺藩で改作法を指導し、その

様子を文書から読み取りました。歩入(ブイ)とって分納の割合を決め、年何回かに分けて、年貢を納めさせました。また、石黒家文書の「安政7年(1860)公用留」も取り上げ、とても親孝行な息子に、褒美を与えたいとの心温まる願書を読み解きました。



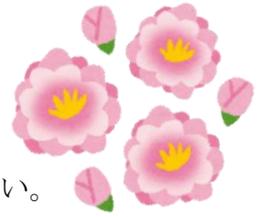
講師：木越隆三氏



会場風景 (小松市公会堂)

アンケート結果

(2月11・23日合計)



☆ 講座はいかがでしたか？

- ・勉強になった 34人
- ・分かりやすかった 33人
- ・ほぼ理解できた 26人
- ・またぜひ参加したい 21人

☆ 古文書の学びたい年代は？

- ・近世(江戸時代) 65人
- ・中世(鎌倉～戦国時代) 28人

☆ 古文書から学びたい事は？

- ・文字のくずしを学びたい 34人
- ・いろんな文書を読みたい 39人
- ・人物、出来事を知りたい 43人

【ご感想・ご希望】

- ・月一度の定期講習にしてほしい。
- ・北陸の廻船業、北前船について学びたい。
- ・休憩を取りつつ3時間ほどしたい。
- ・意見交換ができる場がほしい。

「正徳の一揆史料を読む」

時間：3月9日(日)午後2時から4時

場所：小松市公会堂1階第1・2会議室

石黒家文書の「安政7年公用留」の続きを読みます。また、那谷寺通夜物語、土民騒乱記の史料から正徳の一揆について学びます。

初参加の方や前回受講されなかった方も聴講可能です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。



<事務局2月の活動状況>

- ・2月6日(木) 近世村方部会
- ・2月10日(月) 産業年譜作成打合せ
- ・2月11日(火) 古文書講座(1回目)
- ・2月23日(日) 古文書講座(2回目)

<事務局3月の活動予定>

- ・3月9日(日) 古文書講座(3回目)
- ・3月10日(月) 美術工芸部会
- ・3月14日(金) 史料調査(尊經閣文庫)
- ・3月19、20日 史料調査(八戸市)
- ・3月25日(火) 産業部会



<3月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。

市史編纂担当(小松市教育委員会生涯学習課)

- ・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91
- ・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

